

おおま議会だより

奥戸小学校
150周年記念学会



主な内容 9月定例会

- P2 9月定例会
- P3 歳入・歳出諸決算認定
- P4～5 一般質問
- P6～7 特別委員会・議会のうごき・議会のできごと①
- P8 議会のできごと②・編集後記

第3回 9月定例会

令和7年第3回定例会を9月11日に開会し、
9月18日に閉会しました。
本議会に提案された議案12件はすべて原案とおり
認定、可決、同意しました。

令和7年度 補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ3
億701万円を追加
し、歳入歳出予算の総
額を48億8,171万
円とした。

歳入の主なもの

地方交付税

○普通交付税の交付額
の確定に伴い2億6,
589万円を追加計上。

国庫支出金

○国庫補助金で防災・
安全交付金761万円
を追加計上。

県支出金

○県補助金で青森県核
燃料物質等取扱税交付
金2,341万円を追
加計上。

町債

○起債対象事業費の精
査に伴い過疎対策事業

歳出の主なもの

総務費

○総務管理費の財産管
理費で、財政調整基金
積立金2,000万円、
地域福祉基金積立金1
億5,000万円、物
価高騰対応重点支援事
業費で物価高騰対策支
援給付金（調整給付）
750万円をそれぞれ
追加計上。

民生費

○社会福祉費の老人福
祉費でシルバー人材セ
ンター事業委託料36
2万円を追加計上。

農林水産業費

○農業費の畜産業費で
内山展望台解体工事3

土木費

45万円を計上し、繁
殖センター費で飼料原
料の高騰に伴い飼料費
1,000万円を追加
計上。
○水産業費の水産業振
興費で製氷施設等屋根
改修工事688万円を
計上。

○道路橋梁費の道路橋
梁維持費で道路維持補
修工事450万円、道
路維持補修工事（防交
渉事業）3,000万
円をそれぞれ追加計上
し、道路維持補修工事
（緊目債事業）3,00
0万円を計上し、町道
大間大間平21号線舗装
工事500万円、下水
道費で大間町下水道事
業会計負担金721万
円をそれぞれ追加計上。

○道路橋梁費の道路橋
梁維持費で道路維持補
修工事450万円、道
路維持補修工事（防交
渉事業）3,000万
円をそれぞれ追加計上
し、道路維持補修工事
（緊目債事業）3,00
0万円を計上し、町道
大間大間平21号線舗装
工事500万円、下水
道費で大間町下水道事
業会計負担金721万
円をそれぞれ追加計上。

○道路橋梁費の道路橋
梁維持費で道路維持補
修工事450万円、道
路維持補修工事（防交
渉事業）3,000万
円をそれぞれ追加計上
し、道路維持補修工事
（緊目債事業）3,00
0万円を計上し、町道
大間大間平21号線舗装
工事500万円、下水
道費で大間町下水道事
業会計負担金721万
円をそれぞれ追加計上。

○道路橋梁費の道路橋
梁維持費で道路維持補
修工事450万円、道
路維持補修工事（防交
渉事業）3,000万
円をそれぞれ追加計上
し、道路維持補修工事
（緊目債事業）3,00
0万円を計上し、町道
大間大間平21号線舗装
工事500万円、下水
道費で大間町下水道事
業会計負担金721万
円をそれぞれ追加計上。

○道路橋梁費の道路橋
梁維持費で道路維持補
修工事450万円、道
路維持補修工事（防交
渉事業）3,000万
円をそれぞれ追加計上
し、道路維持補修工事
（緊目債事業）3,00
0万円を計上し、町道
大間大間平21号線舗装
工事500万円、下水
道費で大間町下水道事
業会計負担金721万
円をそれぞれ追加計上。

○道路橋梁費の道路橋
梁維持費で道路維持補
修工事450万円、道
路維持補修工事（防交
渉事業）3,000万
円をそれぞれ追加計上
し、道路維持補修工事
（緊目債事業）3,00
0万円を計上し、町道
大間大間平21号線舗装
工事500万円、下水
道費で大間町下水道事
業会計負担金721万
円をそれぞれ追加計上。

○道路橋梁費の道路橋
梁維持費で道路維持補
修工事450万円、道
路維持補修工事（防交
渉事業）3,000万
円をそれぞれ追加計上
し、道路維持補修工事
（緊目債事業）3,00
0万円を計上し、町道
大間大間平21号線舗装
工事500万円、下水
道費で大間町下水道事
業会計負担金721万
円をそれぞれ追加計上。

○道路橋梁費の道路橋
梁維持費で道路維持補
修工事450万円、道
路維持補修工事（防交
渉事業）3,000万
円をそれぞれ追加計上
し、道路維持補修工事
（緊目債事業）3,00
0万円を計上し、町道
大間大間平21号線舗装
工事500万円、下水
道費で大間町下水道事
業会計負担金721万
円をそれぞれ追加計上。

○道路橋梁費の道路橋
梁維持費で道路維持補
修工事450万円、道
路維持補修工事（防交
渉事業）3,000万
円をそれぞれ追加計上
し、道路維持補修工事
（緊目債事業）3,00
0万円を計上し、町道
大間大間平21号線舗装
工事500万円、下水
道費で大間町下水道事
業会計負担金721万
円をそれぞれ追加計上。

○道路橋梁費の道路橋
梁維持費で道路維持補
修工事450万円、道
路維持補修工事（防交
渉事業）3,000万
円をそれぞれ追加計上
し、道路維持補修工事
（緊目債事業）3,00
0万円を計上し、町道
大間大間平21号線舗装
工事500万円、下水
道費で大間町下水道事
業会計負担金721万
円をそれぞれ追加計上。

○道路橋梁費の道路橋
梁維持費で道路維持補
修工事450万円、道
路維持補修工事（防交
渉事業）3,000万
円をそれぞれ追加計上
し、道路維持補修工事
（緊目債事業）3,00
0万円を計上し、町道
大間大間平21号線舗装
工事500万円、下水
道費で大間町下水道事
業会計負担金721万
円をそれぞれ追加計上。

○道路橋梁費の道路橋
梁維持費で道路維持補
修工事450万円、道
路維持補修工事（防交
渉事業）3,000万
円をそれぞれ追加計上
し、道路維持補修工事
（緊目債事業）3,00
0万円を計上し、町道
大間大間平21号線舗装
工事500万円、下水
道費で大間町下水道事
業会計負担金721万
円をそれぞれ追加計上。

○道路橋梁費の道路橋
梁維持費で道路維持補
修工事450万円、道
路維持補修工事（防交
渉事業）3,000万
円をそれぞれ追加計上
し、道路維持補修工事
（緊目債事業）3,00
0万円を計上し、町道
大間大間平21号線舗装
工事500万円、下水
道費で大間町下水道事
業会計負担金721万
円をそれぞれ追加計上。

国民健康保険 特別会計

○歳入歳出それぞれ5
19万円を追加し、歳
入歳出予算の総額を7
億3,494万円とし
た。

後期高齢者医療 特別会計

○歳入歳出それぞれ1
51万円を追加し、歳
入歳出予算の総額を
6,298万円とした。

水道事業会計

○収益的収入及び支出
で営業収益74万円、営
業費用79万円、営業外
費用62万円を追加計上
し、収益的収入の総額
を1億7,173万円、
収益的支出の総額を1
億7,075万円とし
た。

○資本的収入及び支出
で負担金1,590万
円、建設改良費1,5
90万円を減額計上し、
資本的収入の総額を2
億4,434万円、資
本的支出の総額を3億
3,113万円とした。

下水道事業会計

○収益的収入及び支出
で営業外収益280万
円、営業費用540万
円、営業外費用27万
円を追加計上し、収益
的収入の総額を2億1,
636万円、収益的支
出の総額を2億35万
円とした。

教育委員会教育長

新任

岩本 浩也 氏



教育委員会委員

再任

佐藤 恵美子 氏

人権擁護委員会

再任

古畑 龍泉 氏

歳入・歳出諸決算審査特別委員会報告

令和6年度

歳入・歳出諸決算を



①一般会計

歳入	収入済額	51億8,409万7,727円	収入未済額	6,069万2,182円	予算額との比較	263万5,273円
歳出	支出済額	50億 475万6,864円			不用額	1億8,197万6,136円

②国民健康保険特別会計

歳入	収入済額	8億1,936万5,734円	収入未済額	1億1,603万9,867円	予算額との比較	4,081万2,266円
歳出	支出済額	8億1,297万3,074円			不用額	4,720万4,926円

③後期高齢者医療特別会計

歳入	収入済額	7,255万9,639円	収入未済額	292万2,200円	予算額との比較	△263万8,639円
歳出	支出済額	6,547万9,991円			不用額	444万1,009円

④介護保険特別会計

歳入	収入済額	6億6,073万7,149円	収入未済額	1,453万1,544円	予算額との比較	1,470万3,851円
歳出	支出済額	6億2,258万7,853円			不用額	5,285万3,147円

⑤水道事業会計

	【1】収益的収入及び支出		【2】資本的収入及び支出	
収入	決算額	1億7,124万5,630円	決算額	2億4,558万3,921円
	予算額に比べ決算額の増減	82万8,630円	予算額に比べ決算額の増減	△26万9,079円
支出	決算額	1億6,428万9,604円	決算額	3億2,924万8,337円
	不用額	704万 396円	不用額	602万2,663円

※資本的収入額が、資本的支出額に不足する額8,366万4,416円は当年度分消費税資本的収支調整額1,403万6,155円、当年度分損益勘定留保資金6,264万367円、繰越利益剰余金698万7,894円で補填した。

⑥下水道事業特別会計

	【1】収益的収入及び支出		【2】資本的収入及び支出	
収入	決算額	1億9,225万 667円	決算額	1億2,294万6,400円
	予算額に比べ決算額の増減	1,830万9,667円	予算額に比べ決算額の増減	△73万8,600円
支出	決算額	1億9,531万8,769円	決算額	1億5,554万 568円
	不用額	△2,606万9,769円	不用額	556万4,432円

※資本的収入額が、資本的支出額に不足する額3,259万4,168円は引継金494万7,303円、当年度分損益勘定留保資金2,764万6,865円で補填した。

町税及び各特別会計の収納対策として、県市町村税滞納整理機構へ依頼し、収納率向上を図っているが、各種税においては未収額が多額となっている。また、全国的にも注目の高い当町の大間マングロを目玉とした、ふるさと応援寄附金においては増額傾向となっておりことから、今後も各関係機関と連携した施策を講じていきたい。

なお、公金の取り扱いに関しては、職員それぞれが公務員としての立場を改めて認識し、事務にあたっていたきたい。

留意改善を要する事項

一般会計の収入未済額の主なものは町税である。特別会計の各会計の未済額も対前年度よりも増加している。不能欠損処理も毎年行われ、令和6年度は前年度と比較して少額となっているものの、平等性や住民感情を考慮すると時効中断の作業等を考える必要がある。

また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証書類と符合しており誤りのないものと認められた。

審査の結果

一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書並びに水道事業会計決算書、下水道事業会計決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査及び財産に関する調査は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は、それぞれ関係諸帳簿その他証書類と照合した結果、誤りのないものと確認した。

監査委員から

7月30日津波警報発令

避難状況と課題を問う!!



堀 祐介 議員

質問時間 45分

カムチャツカ半島付近の震源とする地震が発生し大間町に津波警報が発表され避難指示が発令された。町の初動対応は？

町長

9時45分に町内全域に避難指示を発令、町内7箇所避難所を開設し、防災無線で町内に周知を図るとともに避難者に水と食料の配布を行った。

津波警報が長期化することを見込み、14時10分には、開設した避難所に食料、水、毛布などを追加で搬入。21時16分に町内の避難指示を解除し、災害対策本部から警戒対策本部に切り替え、順次避難所の閉鎖を進め避難者が残っていた大間小学校を除き22時に避難所を閉鎖。大間小は、翌朝7時30分に避難者が退所し閉鎖。

再質問

当日の避難所の運営体制と避難状況は？

町長

大間小、大間中、勤労青少年ホーム、総合開発センター、奥戸交流館、奥戸小、農村婦人の家の7箇所を開設。

職員は各施設2名体制とし、17時以降は4時間ごとに交替として対応。

避難者数は、最も多かったのは、30日の11時30分時点の217人で、18時時点の避難者は16人。

再質問

避難された方の数を、避難所別にお聞きしたい。

参事兼総務課長

大間小で60名、奥戸小が11名、大間中が18名、開発センター42名、勤労青少年ホームが22名、奥戸交流館が21名、材木婦人の家が2名、役場にも41名。

再質問

学校を除く指定された避難所にエアコンもない状態で、熱中症のリスクもあると思うが対応は？

参事兼総務課長

学校では、空き教室を開放しエアコンの設置した部屋を活用。未設置の施設に関しましては、窓を開けて風を通し、多めに飲み物の配布を行って水分をとっていただくというような対応。避難所に、エアコン等の設置を含めて今後の検討課題。

1人暮らしの高齢者の避難対応は？

町長

令和5年度から一人暮らしに関わる自力避難が困難な方の個別避難計画の作成を進めており、7月30日時点で17人の避難計画を作成しております。

消防団や関係者による声掛け、避難支援も実際に行われ計画が活用されています。

津波等の災害直後は、行政や消防が迅速に駆けつけることが困難であるため地域で助け合う共助が重要です。今後も計画作成や支援体制の構築について、町民皆様のご協力をいただきながら取り組んでまいります。

避難者からの要望や意見は？

町長

水をもっと提供してほしいという要望がありました。

避難者の方には、避難者1人に1本ずつ配布しておりましたが、追加を求める声が多かったため追加配布を行いました。

避難目的の地点へ避難された方から、暑さの中で屋外に留まることが厳しいという意見がありました。

避難目的の地点は、津波から逃れ安全を確保する目安の

場所であり避難所へ移動していただくよう防災訓練等で周知していたところ。

避難所への職員配置については、顔見知りの職員がいたほうが安心できるというご意見もいただきました。

必ずしもその地域に住む職員を配置できるとは限りませんが、住民の皆さんと円滑な避難所運営ができるよう可能な限り配慮していきたいと考えております。



傳法 正広 議員

質問時間 40分

大間町海岸一帯の
放置漁船(廃船)について

基幹産業として支え続け、その役割を終えた漁船が海岸一帯に放置されている状況です。

この状態を町長はどのように感じ、どのような解決策を考えているのか？

町長

基本的に古くなった、壊れて使用しなくなった漁船は、所有者の責任で適切に処分することとなる。使用されなくなった漁船の放置は、港の機能低下の要因となり大きな課題であると認識しているが有効な手段が見い出

せない状況。

再質問

漁船は個人財産なので、それぞれ責任を負わなくてはならないが、何故その漁業者が廃船処理をできないのか？その理由は何だとお考えか？

町長

所有者が亡くなったとか、高齢化によりやはり所得が少なく解体費の支払いが難しい状況と認識している。

再質問

漁業者・漁協だけでは前に進めていけないのが実態。そこで、町として、漁協や漁業者の声を代弁し、制度設計するところがあれば可能性が生まれると思

いますが、町長のお考えは？

町長

この廃船については、全国的に何箇所か見つけてます。それらを参考に町の財源が許す限りにおいて、今後対策として考えていく。

再質問

国・県が制度化に至るまでは多難であり、それ相応の時間がかかる。抛り所がない船は、結局将来的に町が負担することになる。

町長

関心がある方々については、漁業者の負担軽減につながる施策がすぐく大事。制度設計を政策として取り上げるべきと思いますが、町長のお考えは？

町長

漁協とともに進めていくことが重要。全国の調べから補助制度を実施している町が2つほどある。今後検討していきたい。

再

漁民の皆さんが廃船処理に関し負担軽減につながる施策・政策を実行して頂きたい。

※「東奥日報」令和7年10月2日「1面に『放置漁船ハマに重荷』のタイトルで取りあげられました。

基幹産業とされる
水産業の振興策について

基幹産業である水産業が衰退傾向にあるが、賑わいを創出し、かつ生活の生業として、どのような振興策を考えているのか？

町長

奥戸漁業協同組合で海苔養殖を行っている。水産振興事業補助金で、大間漁協がウニ移植事業・仔ダコ放流を、奥戸漁協は経営強化対策事業を行っている。

また、地域沿岸振興対策事業費補助金で、

大間漁協がアイナメ放流、ナマコ放流、アワビ資源管理等を、奥戸漁協がヒトデ駆除等を行っている。

課題として、両漁協とも担い手となる後継者不足等があります

が、各種事業を展開し漁業活性化を図り、所得向上に資することで課題克服と考えている。今後両漁協と協議を行い事業を展開していく。

再質問

各事業実施では、その継続性が必要で効果も見えずらいところに直面しているようですが、環境も変化し大間に合った育てる漁業と

町長

継続的なものはやっていますが、漁業振興協議会と協議の上で、ナマコを種苗センター養

殖と買い付け放流の2段階で実施し期待している。

再質問

後継者不足は、これからの水産振興には重要なこと。独自の政策として町が取り組むビジョンがあるのか？

町長

大間の漁業といえばマグロがあり、マグロに関しては、結構若い方の後継者が増えている段階。減っているのは沿岸漁業のコンブやナマコ漁で、できれば、ナマコで所得水準を上げ魅力につなげ沿岸漁業の活性化に向けて取り組みたい。

再

漁業振興では、つくり育てる漁業、新規就業者の確保が重要なので前向きに取り組んで頂きたい。漁業者の生業を守るために、町が率先して課題解決することを望みます。

特別委員会

〔令和7年9月2日〕

(大間・函館フェリー
航路対策特別委員会)

案件

1. 大間・函館航路存
続に向けて経過報告に
ついて(1) 今年度の、これ
までの動き

① 5月12日

町長が意見交換の
場で「国において防
災船舶の建造と航路
の維持、または、自
治体において防災船
舶及び航路維持に係
る補助金の創設」を
要望

② 5月16日

企画経営課担当者
が、鉄道・運輸機構
及び内海造船株式会
社東京支社と情報交
換

③ 5月20日

企画経営課担当者

が、内閣府原子力防
災担当と面談

④ 5月27日

企画経営課担当者
が下北期成同盟会担
当課長会議にて1.
運航実績及び決算、2. 令和7年度の大
間町の取り組みにつ
いて報告(オブザーバー・県の地域交通・
連携課職員が出席)

⑤ 5月28日

前回、プロポーザ
ル参加の三菱造船株
式会社が当町で情報
交換

⑥ 6月8日

内海造船株式会社
に対し、新船建造費
の見積りを依頼(8
月4日に見積り算出
が厳しく、参考まで
に隠岐広域連合の新
船建造費を目安に。
との回答)

(2) 造船業の現状で

は、世界的には造船
業は活況を呈してお
り、環境に配慮した
船舶の需要が高まっ
ている。一方、国内では内航海運事業者
が減少傾向にあり、
造船所は数年先まで
契約が埋まっている
状況である。また、旅客船を建造できる
造船所も限定されて
きている。(3) 新船建造に向け
ての課題では、現在
の大函丸の建造費は
26億400万円。(内訳：青森県が5
億、大間町が21億4
00万円を負担) 島根県の隠岐広域連合
での公募型プロポーザルで決定の事業費
を参考としても、今
後の動向次第では、金額が大きく変わる
可能性がある。(4) 新船建造費の財
源は、現時点での見
込み。(公共施設維持運営基金、原子力
発電施設等立地地域
基盤整備支援事業交
付金等)(大間原子力発電所対
策特別委員会)

案件

1. 新規制基準適合性
審査の対応状況につ
いてプラント施設の審査
開始を踏まえ、「敷地
の地質・地質構造」、津波の評価、並びに「火
山影響評価」等の報告
プラント施設の審査は、地震・津波の審査
における大きな論点で
基準地震動が確定したことを受け、建設中プ
ラントの特性を活かし
た安全対策、それから適合性審査における主
な論点等について説明
MOX炉心に係る新知見、重大事故等対処
施設のヒアリングも実
施の対応

事業者としては、2

議会のうごき

(令和7年8月～10月)

8月

14日 大間町ブルーマリンフェスティバル

15日 令和7年度大間町20歳のつどい

20日～23日 下北郡町村議会議長会県外行政視
察研修(大阪府・議長及び事務局)24日 下北半島みちづくり総決起大会2025
(むつ市・議長)

26日 例月出納検査(宮野議会選出監査委員)

27日～29日 全国町村議会広報研修会(東京
都・堺委員長及び山崎副委員長並びに吉
田委員)

9月

2日 大間・函館フェリー航路対策特別委員会
議会運営委員会9日 むつ総合病院病棟整備に関するセミナー
(むつ市・議長)

11日 第3回大間町議会定例会開会

12日 大間原子力発電所対策特別委員会
総務教育常任委員会及び産業民生常任委
員会

16日 歳入歳出諸決算審査特別委員会

17日 一般質問・議案審議
議会広報編集委員会

18日 議案審議

19日 第3回大間町議会定例会閉会

21日 大間中学校体育祭

22日 秋の交通安全及び防犯パレード(旧フェ
リー埠頭・議長)

25日 例月出納検査(宮野議会選出監査委員)

大間町議会の出来事

研修会

東京都
渋谷公会堂
8月28日

令和7年度町村議会広報研修会



研修会

青森市
10月9日

令和7年度下北郡町村議会議員及び事務局職員研修会



026年10月までに説明を終える計画を提示しており、今後も、効率的に審査が進むよう、原子力規制委員会とコミュニケーションを図りながら、適宜調整を進めていきたい。

2. 建設・運転差止等請求訴訟の審理状況について

- ・住民の訴訟について
前回原特委以降、
□頭弁論期日は開催されていない。次回第15回□頭弁論は9月30日。今後3回の開催が予定されている。
- ・函館市の訴訟について
第34回□頭弁論期日が9月2日に開催され、原告及び国が準備書面を提出。
第35回□頭弁論は12月24日、第36回□頭弁論は3月9日に開催が予定されている。

- 10月
- 26日 県町村議会議長会理事会（青森市・議長及び事務局長）

27日 第4回本州最北端マラソン大会（ウイング・議長）

28日～30日 北海道泊原子力発電所及び函館送電系統括事業所視察（北海道泊村及び函館市・議員及び事務局）

5日 第50回青森県スポーツ少年団フェスティバル剣道競技会兼エンジョイ！剣道フェスティバル2025青森県予選会（大間中学校・議長）

7日 大間原子力発電所三ヶ町村協議会（健康福祉センター「スマイリー」・正副議長及び大間原子力発電所対策特別委員会副委員長並びに事務局長）

8日 議会広報編集委員会

9日～10日 下北郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会（青森市・議員及び事務局）

11日 大間小学校学習発表会

15日～17日 監査委員全国研修会（東京都・宮野議会選出監査委員及び事務局長）

18日 奥戸小学校創立150周年記念学芸会

21日～22日 正副議長・各種常任委員長・議会運営委員長・事務局局長研修会（青森市・正副議長及び各常任委員長、議会運営委員長並びに事務局長）

22日 議会広報編集委員会

23日 下北総合開発期成同盟会重点要望活動（青森市・議長及び事務局長）

29日 例月出納検査（宮野議会選出監査委員）

29日～11月1日 全国過疎問題シンポジウム2025 in とっとり（鳥取県・議長）

大間町議会の出来事

視察

東通村
7月24日

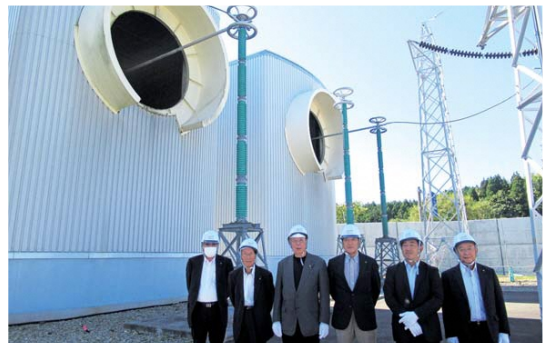
東通村営牧場・東通村農産物加工センター



視察

北海道
泊村～
函館市
9月28日～
30日

泊原子力発電所・函館送変電統括事業所・古川ケーブルヘッド



編集後記

暑かった夏も過ぎ、短い秋の涼しさを感じられます。

浜を見渡せば昆布漁の最盛期も終え、ブリやマグロの豊漁に期待したいものです。太平洋側ではイカも昨年と比べ豊漁のようですが、前沖の海峡は賑わったでしょうか？物価高騰のなか昆布は若干高値で取引され、少しは家計を助けることができたかな？

これから寒さを感じながら長い冬の季節を迎えますが、住民みなさんが健康でご家族の団らんが長く続きますようにお祈り申し上げます。

記【傳法】

議会広報編集委員

委員 長	堀 祐 介
副委員 長	山 崎 一 利
委 員	傳 法 正 広
	吉 田 安 男
	佐々木 信 彦